

# 日本史研究推進委員会

共同研究「神奈川の地域史研究とその教材化—歴史総合・日本史探究をどう教えるか—」経過報告

神奈川県立足柄高校 桐生 海正

日本史研究推進委員会では、2025 年度も引き続き歴史総合や日本史探究の授業を念頭に、「神奈川の地域史研究とその教材化」をテーマに活動しました。通常の例会に加え、世界史研究推進委員会（以下、世界史推進）や神奈川県立歴史博物館（以下、県博）の学芸員とも合同で例会を実施しました。また、8 月に大学教員を招いて日本史サマーセミナー、8 月と 1 月に巡検を実施しました。この場をお借りして研修の会場を提供していただいた各学校や博物館の皆さまに厚く御礼申し上げます。

## 1 月例会〔月／会場（発表者名等）、●は世界史推進との合同、▲は県博との合同〕

4 月／相模原中等教育（年間予定策定）、5 月／▲神奈川総合産業（桐生・本田）、6 月／●相模原中等教育（内田・神田）、7 月／▲大磯（井上・矢野）、8 月／横浜翠嵐（桐生・渡邊・松澤）、9 月／秦野曾屋（日戸）、10 月／▲鎌倉学園（風間）、11 月／▲霧が丘（秋田、時任）、12 月／●横浜国際（渡邊、徳原）、1 月／▲希望ヶ丘（林、須藤）を実施しました。

## 2 日本史サマーセミナー（詳細は別稿をご覧ください）

8 月 20～21 日に横浜翠嵐高校を会場に「「歴史総合」から「日本史探究」へ PartⅣ」というテーマで実施しました。午前は高校生を対象に大学教員の講義、午後は教員を対象に大学教員と高校教員が報告を行いました。講師には成田龍一氏（日本女子大学）、小関悠一郎氏（千葉大学）、大串潤児氏（国立歴史民俗博物館）、富山仁貴氏（明治大学）をお迎えしました。午前の講義に対するリプライを渡邊泰斗、松澤友秋、生田幸士、桐生海正が行いました。県内の若手教員や県外からも多くの参加者があり、充実した研修になりました。

## 3 巡検（詳細は別稿をご覧ください）

夏季巡検は甲府方面で実施しました。午前は信玄堤・将棋頭などの河川堤防や甲斐善光寺の見学、午後は武田神社及び甲府市武田氏館跡歴史館（信玄ミュージアム）を見学しました。冬季巡検は綾瀬・座間方面で実施しました。午前は市学芸員の案内で神崎遺跡資料館と早川城跡の見学、午後は市学芸員の案内で座間市役所にて「ザマロン」（表裏型顔面把手）の見学、その後、座間市立図書館へ移動し、武田信玄が座間の星谷周辺に「新鎌倉」を置こうとした構想があったという講義を久保田昌希氏（駒澤大学名誉教授）より賜り、関連絵図を閲覧後、周辺を巡検しました。

今年度、県博とは 5 回にわたる博学連携例会を実施し、県博所蔵資料を活用した 11 本の教材案を得られた点が特筆されます。今後、教材の完成度をより高めていくとともに、県博 HP での教材案公開に向け、調整を進めていきたいと思えます。また、2028 年度には全国歴史教育研究協議会神奈川大会の開催も決まっているため、通常例会に加え、世界史推進との合同例会、日本史サマーセミナーでも、大会に向けた議論を加速させていきたいと考えています。

最後になりますが、私たちは中堅教員を中心に新採用や再任用教員まで最新の歴史学の成果を踏まえた教材研究を進めています。私たちと一緒に教科指導力を高めたい方は、是非桐生か副委員長の松澤までご連絡ください。お待ちしております。